



(生涯学習課)

「この本、よかった！」(29) 『あのころ』 作・絵・さくらももこ (集英社文庫)

皆さんにもおすすめしたい「くまどく本」今月は熊野中学校からです。 下竹 就己(3年2組) この本は、エッセイですが、ちびまる子ちゃんの世界観が全開で、本が苦手な僕でも、おもしろくて、とても読みやすかったです。 ぜひ、皆さんも読んでみてください。

下竹 志月(母)

さくらももこさんの幼少の頃のエピソードが、おもしろおかしく書かれています。おもしろいのはもちろんですが、ほつりしてなつかしい気持ちになれる本です。

第62回日本伝統工芸品展 入選おめでとうございます

第62回日本伝統工芸品展に部谷きよみさん(神田)が人形の部門で入選されました。部谷さんの人形作りの経歴は30年以上にもなり、同展への入選は今回で8回目になります。

初入選は第42回同展。当時は筆まつりで大書をする女性をモデルに制作されるなど、日常生活の一コマを人形のモチーフにされていましたが、10年ほど前から抽象的なものへと作風が変化したそうです。今回の入選は作風が変化してから初めての入選で、花をイメージして制作されています。

お話を伺ったところ、「大好きな花をイメージして制作し続けて、6回目ようやく入選したので嬉しいです。初めての入選の時と同じで、地元の方々に助けられての入選です。」と感謝の気持ちを述べられていました。

第62回日本伝統工芸品展は下記の日程で広島でも開催されます。ぜひご覧ください。

時 2月24日(水)～3月13日(日)

所 広島県立美術館



「ラベンダーの丘」 作：部谷きよみ

(総務課)

芸術類型卒業作品展・卒業演奏会

熊野高等学校

この地に (239)

筆が育てる 筆が育てる

本校は、芸術類型を大きな特色の一つとして、演奏活動及び作品制作など、生徒の芸術活動に取り組んでいます。その成果を発表する機会として、毎年卒業演奏会・卒業作品展を開催しています。

今年度、音楽コースは新たな発表の場を拓き、2月21日(日)に広島市南区民文化センターにおいて卒業演奏会を開催し、活動の成果を披露します。(10:30開場、11:00開演)

美術・書道コースは、2月16日(火)～21日(日)広島県立美術館において卒業制作展を開催します。生徒の発表の場として21日(日)に同会場で3年生による作品解説を行い、大学の先生にご講評をいただく予定です。(書道14:30～、美術15:00～)生徒それぞれがテーマ・目標をもち、自らの作品について解説し、プレゼンテーション能力をのばし鍛えていく機会としています。

忌憚なく御意見、御感想をいただき、今後の活動の励みにしたいと思っております。ぜひ御来場ください。



「昨年美術コース講評会の様子」

熊野高等学校 ☎854-4155



(生涯学習課)



スポーツ振興くじ助成金を活用して、町民グラウンド照明設備を改修しました。 独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成27年度スポーツ振興くじ助成金を活用して、町民グラウンドのナイター照明を改修しました。 今回の改修工事により、グラウンド照明設備の約半数がLED照明となったことで、夜間でも安定した明るさの下でスポーツを楽しむことが可能となりましたので、ぜひご利用ください。

熊野町 教育委員会

やまびこ

(25)

「たかがあいさつ されどあいさつ！」

めざせ!あいさつ日本一! あいさつのレベル レベル⑤ 自分のほうから、立ち止まり、笑顔で会釈しながら大きな声であいさつをする。 レベル④ 自分のほうから、立ち止まり、はっきりとあいさつをする。 レベル③ 自分のほうから、大きな声であいさつをする。 レベル② 声をかけられてから、相手のほうを見て、小さな声であいさつをする。 レベル① 声をかけられてから、小さな声であいさつをする。

「めざせ!あいさつ日本一!」は、中学校からスタートした挨拶のレベルです。この挨拶のレベルは5年前中学校の掲示板に貼ってあったものです。当時、「挨拶は自然に心からするものだ」という意見もありましたが、その心の耕しができていない状態で待っていても挨拶ができるようにはならないと思いました。子ども達を支援して下さっている地域の様々な団体の方々が、挨拶運動を続けて下さっている今、朝の挨拶は小中学校でも高校でもそして幼稚園や保育園の子ども達も意識して「おはよう」の声を出せるようになっていきます。挨拶はコミュニケーションの第一歩です。



「おはよう」や「さようなら」の挨拶ができるようになったら、次は「ありがとう」や「ごめんなさい」です。これは相手を理解することができたり、相手を許すことができる心の成長がないと言えない挨拶です。次の段階の挨拶だと言えます。大人でも他の人の好意に対して心から感謝の気持ちで「ありがとう」と言える人は素晴らしいと思います。更に挨拶が一番難しいのが「ごめんなさい」です。大事なものを壊してしまったり相手に迷惑をかけたりした時、すぐに「ごめんなさい」と声に出して言えているでしょうか。心の中では謝っていても、なかなか相手にその気持ちを伝える「ごめんなさい」が言えないものです。それができれば、喧嘩やいざごは起こらないで済むことも多いと思います。コミュニケーション力は相手を尊敬できたり大切に思えたりするところに生まれるものです。

「挨拶ができないくらい…」と思うのは、危険信号です。「挨拶ができてこそ」相手を理解する力が身に付くのだと思います。如何ですか?家族の間でも友達同士でも、思い切って「ありがとう」や「ごめんなさい」を声に出して言ってみましょう。きっと、相手の気持ちが分かってきます。そして温かい幸せな気持ちになれると思います。自然に笑顔が広がると思います。

生徒募集中 読み・書き・そろばんの サンライトスクール 中溝4丁目9-11 / 東山4-4 Tel 082-854-0101 / Fax 082-854-8800